

教科	科目	単位数	小学科・学年
家庭	家庭総合	2単位	生活文化科・1年
教科書	家庭総合（実教出版）		
副教材	生活学Navi 資料＋成分表 2025（実教出版）		
学習目標	<p>・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。</p> <p>・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>		

評価の規準・観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などの知識を理解し、技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、課題の提出、成果物、定期考査等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容（特色を含む）			
月		月	
4	オリエンテーション・情報モラルについて	10	第7章 衣生活をつくる
5	第6章 食生活をつくる	11	1 人と衣服のかかわり
	1 人と食物のかかわり		2 衣服の素材の種類と特徴
6	2 私たちの食生活	12	3 衣服の選択から管理まで
	3 栄養と食品のかかわり		4 持続可能な衣生活をつくる
	4 食品の選び方と安全	1	5 私たちがつなぐ衣生活の文化
7		2	
8	5 食事の計画と調理（※年間を通して実施）		第3期考査
9	【夏休み課題】ホームプロジェクト	3	6 衣服をつくろう（※年間を通して実施）
	6 これからの食生活を考える		

担当者からのメッセージ及び特色
<p>1 授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科にかかわる様々な分野を学習し、3年間を通じた家庭教科目の基礎をつくりますので、しっかりと内容を身につけてください。 <p>2 家庭では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と生活をかかわらせて考える習慣を付けましょう。自分の生活を見つめることが、主体的な学習につながります。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットでの学習や、自ら課題を設定し実践的に取り組む学習の基礎も積極的に行っていきます。積極的に取り組みましょう。